

## 平成22年度第1回小牧市休日急病診療所運営協議会 議事録

【日時】平成22年8月11日(水) 14時～15時00分

【場所】保健センター 大会議室

【出席者】委員11名

船橋重喜、友松武、菱田直基、平尾亮人、後藤恒規、酒井義仁、福澤広、  
宮澤孝彦、村上秀斎、櫻井昌典、舟橋武仁

事務局 5名

大野健康福祉部次長、江崎所長、野口補佐、佐橋係長、山中主査  
欠席 委員1名 末永裕之

【次第】

1 あいさつ

2 自己紹介

3 会長選出

4 報告

(1) 平成21年度小牧市休日急病診療所事業報告について

ア 診療状況について

イ 収支状況について

5 その他

6 閉会

【議事】

1 あいさつ (大野健康福祉部次長)

委員の皆様、本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

当休日急病診療所は、昭和53年度に開設以降、休日の急病に対応する一次医療施設として、市民の信頼に応えてきております。これもひとえに、医師会をはじめ歯科医師会・薬剤師会の皆様のご尽力の賜物と心から感謝申し上げます。今後とも、市民の生命と健康保持に寄与していただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、平成21年度は新型インフルエンザが猛威をふるったこともあり、当休日急病診療所開設以来、初めて夜間の診療を行いました。11月から2月末までの4ヶ月間の夜間診療では、407名の受診者がありました。平成21年度の年間では4,800名余の多くの受

診者がありましたが、皆様のご尽力により新型インフルエンザをのりきってこれたと思っています。ありがとうございました。

また昨年度のこの協議会におきましては、利用者1人当たりの市の負担額が平成20年度は平成16年度に比べ約2倍を越す状況となったため、委員の皆様のご理解をいただき経営の見直しについて、3回にわたってご協議をいただきました。その内容について、医師会をはじめ歯科医師会・薬剤師会の三師会と経営改善について実施に向けての話しが整い、今年度より実施をさせていただいているところです。これもひとえに委員の皆様のご協力のたまものと心から感謝いたしております。

今後とも、市民のニーズを勘案しながら休日急病診療所を充実させ、一次医療としての役割を担いながら進めてまいりたいと考えていますので、より一層のお力添え、ご助言をお願いし、開会に際しての挨拶とさせていただきます。

## 2 自己紹介（委員自己紹介・事務局自己紹介）

## 3 会長選出

（事務局） 会長の選出に入らせていただきたいと思います。会長は規約第5条第2項の定めにより、委員の互選により選出すると定められていますが、いかがでしょうか。

（委員） 本会の会長は医師会会長の船橋委員が適任であると思います。

（事務局） ただいま福澤委員より医師会会長の船橋委員を会長とする推薦の発言がありましたが、いかがでしょうか。ご異議がなければ決定したいと思います。

### 異議なしの発言多数

（事務局） それでは、皆様のご同意をいただきましたので、会長は医師会会長の船橋委員に決定いたしました。それでは船橋委員は会長の席に移動をお願いします。

（事務局） それでは、規約第5条第4項の定めにより会長の職務を代理する委員を会長よりご指名ください。

（会長） 医師会内部で申し訳ありませんが、友松委員をお願いします。

(事務局) ただいま会長より職務代理者に指名していただきました友松委員、よろしくお願  
いします。

それでは、会長よりごあいさつをいただきたいと思いますのでよろしくお願いま  
す。

(会長) 会長を仰せつかりました船橋でございます。今日は大変お忙しい中また、蒸し暑  
い中を定刻にお集まりいただきありがとうございます。先ほど大野次長からもお話  
がありましたように、昨年の今頃は休日診療所の増え続ける赤字をどうしたらよい  
かということで市から提案があり、何とかならないだろうかと三師会と市が協議する  
ということでスタート台に立った時期でありました。インフルエンザが日本にも広が  
ってまいりまして、9月に入ると学校が始まっておそらく大変な状況になるだろうと  
いうことでそれに対してどうしていったらいいだろうか、保健所・市と三師会と診療  
所と協議を始めた段階でありました。去年と比べると平和の中でこの会議を持つ事  
ができています。去年のいろいろな体験は休日急病診療所にとっても、三  
師会にとっても貴重な一年間であったと思っております。今後また同じような緊急  
事態も生じてくるかと思いますが去年の経験を踏まえて一致団結していきたいと思  
っております。去年は特殊な状況化でありましたので、去年の事を総括しながらこ  
れからいっそう休診が発展していくようにお互いに協議を進めていきたいと思いま  
すのでよろしくお願います。

#### 4 報告

(1) 平成21年度小牧市休日急病診療所事業報告について

ア 診療状況について (事務局説明 資料 報告1)

(医師会説明)

(歯科医師会説明)

イ 収支状況について (事務局説明 資料 報告2)

#### 《質疑応答》

(会長) 市の負担額が平成21年度減っていますが、夜間診療を行えば夜間診療の手当  
でも足したんですね。そういうのも含んで減っているんですか。

(事務局) トータルで見ますので、変更契約した分も含んでの1人あたりの金額となってい  
ます。平成21年は新型インフルエンザという大きなものがありましたので今年度が  
どのような形になってくるのか少しみていかないとわからないとは思っています。

## 5 その他（事務局説明 資料 その他）

《質疑応答》

（委員） 非常に小児科が増えています。この平成20年と平成22年を比較されたのはいいのですが、小児科で全面的に中学生医療が無料化になった時期と関連はどうですか。平成20年より前だったですか、関係していますか、間にはさまっていますか。その辺の事に関するファクターがどのくらいなのか知りたいものですから。

（委員） 小牧市が中学生まで無料化を導入したのが平成20年4月ですので平成20年度から無料化になっています。

（委員） そうするとファクターは入っていないのですね。この休診の資料も4月から3月ということですか。

（事務局） 保健センターが出させていただいた資料は年度でみるので4月から3月までです。

（委員） そうすると条件・背景は一緒という事ですね。ただその考えが広がったか広がらないかという影響があるかもしれないということは否定できないという事ですよ。

（委員） 今のことに関連してですが、保健センターとして増えた要因はどういうふうに分  
析していますか。

（事務局） これをまとめて感じたのは、昨年度新型インフルエンザが流行して小児を連れ  
たお母さん達が夜間もみえたりしていました。休診を今まで利用されていなかった  
人にも少し認知されたのかなというのがひとつあります。先生方もお気づきかもしれ  
ませんが、保健センター敷地内の交差点の所に4月に看板を設置したのでこれも  
効果があったのかなと思っています。

（委員） 分析するなら、インフルがはやっているころ、土曜日にみて陽性反応がでない翌  
日休診に行きなさいといった人がいたということ、それと土曜日や金曜日に他の医  
療機関にかかってさらに心配になってもう1回来る人が大人と子どもと比べると子ど  
ものほうが多いなと思う。その辺りの要因を調べようと思うと、以前にかかったこと  
があるのかないかとかを調べるとその辺の要因がきちんとでるのかなと思う。それと

今のお母さん方はすぐに心配になるものですから、前に言われたことが本当かどうかとか、まだ熱が下がらないからとか、そういう心配もある方がどんどん増えている。良い・悪いは別としてそういう方もいるからではないかなと思う。

(会長) ポスターを作って医療機関に貼るという話がありましたが、結局ポスターを作っても増えるのは内科系だけだからという意見が内科の先生からでて結局作らなかったんですね。

(事務局) 事務局としては作らせていただいて配布させていただきました。センターでA3版で手作りで一応配布はさせていただきました。

(会長) 事務の人とか看護師とか何か声がでていますか、平尾先生。

(委員) 特にはでていませんので大丈夫だと思います。

(会長) 不満の声だとかそういう声はぼくのほうにも届いていませんので皆さんうまくやってくれていると思います。

(会長) 特に質問もないようですので会議を終了します。